

## 和歌山病院での実習を終えて



三笠 友理奈

2日間にわたって呼吸器内科臨床実習の一環で和歌山病院にて主に結核、胸部 X 線写真の読影、人工呼吸器についての実習させて頂きました。結核については空気感染であることとその予防法は知識としては知っていましたが、具体的に手袋は必要か、アルコール消毒は必要かなどを聞かれると答えられず、今までの知識の浅さを実感しました。また実際に和歌山県下で唯一の結核病棟にも入ることができ、実際に病室を陰圧にしている様子や長期入院に合わせた配慮などを見ることができました。今までの伝聞や知識だけに頼ったイメージから実際の現場を見ることができてとても勉強になりました。胸部 X 線の読影の講義では、陰影ができる原理や構造物とその X 線の透過性の違いについてなどを自分たちで考えてみるという形式で基本的なところから丁寧に教えていただきました。ただ授業を聞くだけではなく自分で考えたことでとても理解が深まり、苦手意識も軽減されました。人工呼吸器についても今まで触ったこともなく、どのようなものかあまりわかっていなかったのですが、実際に器具を触ってつけてみたり酸素を流していただいたりしたことで患者さんが感じている息苦しさや不快さが一部でもわかったような気がします。最後になりましたが、和歌山病院の南方先生はじめお世話になりました先生方、スタッフの皆さまに心から感謝しています。本当にありがとうございました。